

あゆみ

J C H O
二本松病院二本松市成田町1-553
☎0243-23-1231
☎0243-23-5086
<http://nihonmatsu.jcho.go.jp>
発行者：あゆみ編集委員会

新年をむかえて

病院長 六角 裕一

明けましておめでとうございます。

本年も皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

二本松病院は昨年の4月から地域医療機能推進機構（JCHO）二本松病院となりました。当院は通常の病院の機能のほかに、バス5台で検診を行う健康管理センター、腎不全の患者さんの透析治療を行うベッド数31の腎センター、介護老人保健施設、24時間体制の訪問看護ステーションを持っています。そしてそれらの機能を十分に使ってこの地域の皆様の健康を守り、幸せに暮らしていけるようなお手伝いをしていきたいと思っております。

さて、新年ですのでおめでたい話題、長寿について述べさせていただきます。平成25年の日本の平均寿命は厚生労働省によると、男性80.21歳、女性86.61歳とされ、我々の国はかなりの長寿国であることがわかります。そして65歳以上の高齢者数は2025年には3,657万人となり、2040年には3,878万人のピークを迎えると予想されます。これは日本が世界でも類をみない高水準の医療、介護制度を確立した結果だろうと思いますが、手放しで喜べるものなのでしょうか。

今、健康寿命という言葉があります。健康寿命とは健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間と定義されます。そして平均寿命と健康寿命の差は、日常生活に不安のある「不健康な期間」を意味します。言葉をかえれば自立できない期間ともいえます。この期間は男性約9年、女性約12年という統計があります。女性は男性に比べて3年長いわけですが、これは女性の平均寿命が男性より長く、さらに女性は骨粗鬆症や認知症に罹患しやすいことが理由の一つとして考えられています。

現時点では、どのような生活習慣病の対策を通して、どの程度生活習慣病を減らすことが可能で、それにより健康寿命がどのくらい延びるかを推定するためのエビデンスは存在しないという意見はあります。しかし健康寿命を伸ばすという課題に取り組むに当たって、健康増進・病気の予防が担う役割は極めて大きいと考えられるところです。それに加えて病気の早期発見、適切な治療管理による病気の重症化予防、さらには介護予防や介護サービスなど様々な取り組みが必要となるでしょう。JCHO二本松病院は住民の皆様一人一人の健康レベルやリスク、さらには保健医療福祉介護ニーズに応じて、これらの取り組みを切れ目なく総合的に提供していきたいと考えています。

今年もよろしく願いいたします。

わたしたちは地域の皆様に安心を提供するため、保健・医療・福祉の向上に努めます



よ うとうくにく (羊頭狗肉)

副院長 柳沼 健之

ようとうくにく(羊頭狗肉)という四字熟語をご存知の方も多と思います。羊の頭を掲げて、狗(イヌ)の肉を売ることで、看板に掲げているものと扱っているものが違っている事です。すなわち「看板に偽りあり」ということです。

元来中国では「羊」は良いものとされており、「善」や「幸」にも入っています。これらの「羊」が入っている字は良いもの、縁起が良いものにと分かります。冒頭の四字熟語に還ってみると「羊」の肉は高級品で、狗の肉は下等なものと思われていたようです。少しイヌがかわいそうですが。

さて、昨年当院は、JCHO二本松病院として看板を書き換えました。JCHOが今後どんなブランドになっていくのかは、私どもの頑張り次第かと思いますが、「看板に偽りなし」と言われるように、中身についても充実を図っていかねばと、気を引き締めている新年です。

JCHO二本松病院を本年もよろしくお願い申し上げます。

新年の目標

訪問看護ステーション

新年、明けましておめでとうございます。

当ステーションは、今年16年目を迎えます。スタッフも総勢11名となり、利用者も100名を超え、まさに大規模ステーションとなりました。JCHOグループの中でも2番目に大きなステーションとして注目されているところです。これも、病院管理者をはじめ職員の皆様そして地域の医療機関やケアマネジャーさん、利用者様など多くの方々のご指導やご協力のおかげと感謝しております。

昨年の診療報酬改定では、機能強化型訪問看護ステーションが新設され報酬アップになっています。

今年の介護報酬改定では、緊急時訪問看護加算・特別管理加算・ターミナルケア加算について一定以上の実績がある事業所に対して新たな加算として評価すると言われています。報酬アップするということは、それだけ利用者の負担が大きくなるということです。私たち訪問看護師には、利用者が満足の高い質の高いケアを提供することが求められています。現状に満足することなく、スタッフ一人ひとりが利用者・家族の思いに寄り添い、質の高いケアが提供できるように日々努力していきたいと思えます。

今年の大きな目標は「質の高いケアの提供」です。

今年も、訪問看護ステーションをどうぞ宜しくお願いいたします。

地域医療の推進に貢献します

事務長 藤原 勝

六角院長が昨年4月に就任すると同時に、JCHO二本松病院がスタートして初めての新年を迎えました。

この間、従来の診療体制を継続しながら新しい組織体制を整えていくという、まさに変革の一年となりましたが、関係各位のご協力により病院運営も順調に推移しております。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

本年は、保健予防から医療、介護、福祉まで連携したサービスが提供できるように、病院機能を核として附属老人保健施設、訪問看護ステーション、健康管理センター、地域包括ケア支援など更なる機能の充実向上に努めていきたいと考えております。

専門医の確保や医療機器の充実など課題は様々ありますが、これからも地域の皆様や関係各位のご理解をいただきながら、六角院長のもと職員一丸となって地域医療推進のため取り組みを進めてまいります。

今年も、引き続きご理解ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

しっかりと 命のリレーつなぎます

総看護師長 佐藤 妙子

あけましておめでとうございます。

新生「JCHO二本松病院」となって初めての新年です。地域の皆様にも「ジェイコー」という響きに戸惑いはもう感じられなくなってきた頃かと存じます。職員一同もそのジェイコーの使命に添いつつ意識を奮い立たせて励んでおります。

当看護課も理念を「医療人として倫理的感受性を高め、地域から信頼される病院を目指す」と掲げ、何よりも患者様・ご家族様からの信頼を得て患者様中心の看護ケアが提供されますように日々研鑽いたしております。昨今、医療界では「2025年問題」として来るべき超高齢化問題がいろいろと取り沙汰されておりますが、ここ二本松も他人事ではありません。病院・施設・地域の連携が重要なキーワードとなることは間違いありません。当院は、まさにその3つが揃っており、病院に入院して、在宅復帰に向けて施設を経由し、在宅では訪問看護ステーションを活用し、安心して自宅で看護や介護を受けられるように連携ができています。一人の患者様のために関係者がそれぞれの立場からの情報提供や支援を持ち寄り、患者様だけではなく、ご家族様にも心配なくお世話ができるように24時間体制で支援してゆきます。

また、看護課は毎年4つの視点から目標を掲げています。その中の一つの「満足の視点」からは、患者様やご家族様からの信頼をより効果的に発揮できるように関係者の方々とのコミュニケーションを図りながら、患者様・ご家族様の参画したケアプランを作成するよう取り組んでおります。そしてその結果が看護関係者の満足にもつながっております。

その中には、時として、患者様からの厳しいお叱りの声も頂くこともありますが、それは私たちの接遇改革と接遇マナーの強化に努めていく大事な教訓となっております。

もう一つは、「学習と成長の視点」です。これは、

看護職員として、患者様一人ひとりにより良い看護を提供できますように教育に力を入れております。新人看護職員には、一年間という長い時間をかけて教育担当者がじっくりとスキルを上達させてゆきます。また、現任教育では、専門的知識の習得にそれぞれの分野で認定を受けて資格を取得しています。

昨年は、「糖尿病認定看護師」「がん看護分野」「認知症分野」「看護管理分野」等、様々な専門領域で知識を極めております。看護職も専門性が重視されて医療の安全性を担保している時代です。今年も引き続き、専門性を深く追及した分野へ挑戦してまいります。

今年は羊年。「美しい」の「美」は「羊」と「大きい」が組み合わせてできた漢字だそうです。羊の毛のようなフワフワの思いやりで温かく抱擁し、大きな看護の包容力で皆様を包み込み、女性ならではの美しさを持って今年も看護師一同張り切って頑張ります。

新年のごあいさつ

附属介護老人保健施設長 遠藤 和彦

く 暮れの喧騒から一転皆様穏やかなお正月を過ごされましたでしょうか。

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、当施設にとって「二本松病院附属介護老人保健施設」として新たにスタートした記念すべき節目の年でした。

近年、介護を取り巻く環境も多様化しそれに伴う介護・看護の質が重要になり、老健施設に対するニーズも高まってきております。当施設といたしましても、より一層の質の向上と、利用者様に安心したサービスを提供できますようスタッフ一同努めてまいります。

本年も「地域に密着した、地域になくてはならない施設づくり」、そして質の高い介護・看護を目指し地域に貢献してまいりますので、皆様の変わらぬご指導ご支援をこころよりお願い申し上げます。

新年のごあいさつ

附属介護老人保健施設

明けましておめでとうございます。

昨年4月より二本松病院附属介護老人保健施設と名称を改めスタートしていますが、御利用していただいている方々や、地域の皆様のおかげで新年を迎えることができました。

今年も利用していただいている方々や、地域の皆様に安心して利用できる施設となるよう、職員一丸となり、病院との連携をはかり、継続ケアを提供で



きるよう頑張っていきたいと思えます。

今年もよろしく願いたします。

新年のごあいさつ

健康管理センター

新年明けましておめでとうございます。

日頃より、当健康管理センターをご利用頂きまして、厚く御礼申し上げます。

さて、今後さらに見込まれる医療費の増加や高齢化に対応する為に健診の必要性は図りしれません。年に一度は、メタボ健診を受けましょう。

最後になりますが、この一年が皆様にとりまして健やかな年になりますようにお祈り申し上げます。

心身共に、健康が一番！

安心の地域医療を支える JCHO

理念 我ら全国ネットのJCHOは地域の住民、行政、関係機関と連携し、地域医療の改革を進め、安心して暮らせる地域づくりに貢献します。

使命

- (1) 地域医療、地域包括ケアの要として、超高齢社会における地域住民の多様なニーズに応え、地域住民の生活を支えます。
- (2) 地域医療の課題の解決・情報発信を通じた全国的な地域医療・介護の向上を図ります。
- (3) 地域医療、地域包括ケアの要となる人材を育成し、地域住民への情報発信を強化します。
- (4) 独立行政法人として、社会的な説明責任を果たしつつ、透明性が高く、財政的に自立した運営を行います。

編集後記

あけましておめでとうございます。

昨年4月に組織改編、JCHO二本松病院となりました。職員一同心新たに地域医療の推進に努めて参りますので、本年もよろしく願いたします。

(Y・M記)